

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら			
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～	2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～	2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は学習支援に長けていると自負しており、一人一人の学習のサポートを職員全体で共有し、より良い支援を日々考えています。 PDCAサイクルに沿って、各利用者の学習内容や接し方、提供課題を常に適切なものになる様日々考案している事も一つです。	学習内容を本人、保護者と話し合いをし、見通しを立てて行っていく事で苦手や得意をはっきりと明確化し、目標に向かって学習課題を提供しています。 それにより、良い所を伸ばしていける様にと考えています。	例えば算数の足し算を年長さんの利用者様に行って頂き解けなかった際、「この子はどのようにして正解まで辿り着けないんだろう」等深掘りをし、職員間で話し合い次のステップへ迅速に対応していく順応性が必要だと思えます。 現時点ではまだ足りないと感じている為、この問題点を掲げました。
2	ルールやマナーの知識を経験として生かす事にフォーカスしており、利用者様の今後の生活や社会進出に向け、長期で見た時に振り返りを行い個々の成長を見える化する物として目的意識を持ち支援しています。	小学校、中学校と進学していく上で、人との接し方がどんどん複雑になってくる為、少しでも間違えた選択をしたらどうなる可能性があるか等、可能性の話をする事で、そのようにならない様にはどうしたらいいのか、と気持ちの確認が出来る様な場を設ける様になっています。 ロールプレイングを行い経験値を増やす機会を作る様にもしています。	各職員では対応が違う為、利用者様に不安な気持ちを覚えさせたり不安や何が正しいかを感じさせている可能性があります。 そこで必要なのは情報の共有と、職員間での統一性を定着させる事だと思えます。より良い支援をする為に、可能な限り取り入れていく様努めています。
3	集団活動の中で個々での行動の自由や意思、決断力の成長を養うべく一人一人に合った支援を行える様に支援しています。 特性を理解し、事業所内で展開する事で同じ支援にならない様情報共有をし同じことを繰り返さない様に徹しています。	集団行動で必要な集団指示を聞き取る様な声掛け、個別での声掛け、声出し方法等を意識しています。 利用者様により聞き取りが出来ない場合には、どうしたら聞き入れて頂けるかを考え、職員間で共有し、声掛けや環境の変化を付けていく様にしています。	集団指示では職員の声掛けを行った際の子どもの反応や目線、理解度を確認する為とその場にいる職員で全体を見渡しています。 全てを見る事が出来る様、どの職員が誰を見るか等の工夫をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務上のマニュアルがまだ完成されておらず、新人育成の体制が整っていません。 その為育成に遅れがあり、さくらとしての活動に支障が出てしまう現状です。	現状職員の入れ替わりや事業展開に向け、職員の異動が多く見られています。 そこで支援に支障を来すのは良くないと考え、現状は空いた時間に新人教育を実施しています。	見通しとしては来年令和7年度に入る頃には体制を整え、新しく職員が入社した際にはマニュアルを元に徹底した教育、指導をしていければと考えています。 また、送迎業務ではより危険が伴う為、熟知した職員付き添いの下取り組んでいく予定です。
2	学習支援とルールやマナーの支援について掲げておりますが、現状適材適所での支援が少なくともまだ目立ちます。 目標として、フラットに適切な支援が出来る環境作りを慢心せず日々考えています。	職員全体の能力の把握、良さや悪さを理解出来ていないのと、その為の声掛けや対策がまだ不十分だと考えます。 今までもですが、事象毎にフィードバックを行っています。	常に危険性やターニングポイントが起こる為、これからも起こりうる、過去起こった事象を下に職員間でフィードバックをし話し合い、より良い結果に繋げられる様にしています。
3	事業所自体が移転し環境としてはとても大きくなり良くなりました。 しかしその空間を使いきれおらず、今後利用者様たちにとってより良い環境作りが出来ればと思っています。	学習スペースの配置や余暇スペースの配置を練り設置していますが、より良い同線を意識した配置や危機管理を徹底した空間が作れるのではないかと考えています。	月に一回でも事業所内の配置について職員間で話し合い、より良い案が考案された際には皆で決め都度変更する様にしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		さくら		公表日		2024年11月1日		利用児童数		18名		回収数		13名	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		12	1										
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		11	1		1								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		8	1		4								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		10			3								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		11	2										
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		11	2										
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		11	2										
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		11	2										
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		12	1										
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		9	4			色々とアドバイスをくれます。		嬉しいお言葉をくださりありがとうございます。今後も活動プログラムの自由化を図り、より良い支援を行っていきます。					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1	3	8	参加したことがありません。		現在地域の児童館等との交流は行っていませんが、今後必要に応じて関係を持つていけばと考えています。					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		12	1										
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		12	1										
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		3	4	2	4								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。		13											
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		11	2										
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		13				スタッフの皆さんが丁寧です。		有難い限りです。保護者様や利用者様に寄り添った支援も今後も行って頂ける様日々精進して参ります。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		2	4	5	2	活動の有無が分かりません。		現在保護者様からの要望がない為、保護者同士の交流の場を設けていない為、今後要望があった際には機会を設けられる様にと考えています。					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		10	2		1									

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	3			
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	さくら		公表日		2024年 11 月 1 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input checked="" type="checkbox"/>		職員が同じ場所に固まらず分散させることで視界を広げる様にしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input checked="" type="checkbox"/>		利用者様に対し、月毎に確認しながら適切な人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		当事業所は二階にある為、階段には滑り止めをし、職員誘導の上下降する様にしています。	活動する事業所内ではより安全面を考慮する為、周りを見渡せる様な同線作りを心掛けるよう考えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		コロナが収束してきましたが変わらず事業所環境内での清掃、除菌作業を毎日行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		独立した別室を設ける様にし、職員を意識的に配置する様にしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		子供に関する事象では都度振り返りを行い、全体で改善策を見出す様努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		保護者様の意向を見落とさない様場を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		全体発信や個別に時間や場を設けており、スケジュールに合わせて行う様にしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input checked="" type="checkbox"/>		第三者による課外評価を行っていませんが、相談員様や区の会などで意見を頂く等しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		最近では外部研修はなかなか参加出来ていない為、今後はまた率先して参加していける様努めます。内部では月に一回以上は実施しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		保護者様、相談員様に開示しその様にプラスアルファ支援しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		利用者様のご意見を下に（意見交換可能時）保護者様と意見交換をした上で個別支援計画を作成する様遵守しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		事業所全体で会議、情報の共有や気付きを共有する事で、より適切な個別支援計画を作成する様にしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		少しでも脱線した支援が行われた際にはなぜその様にしたか、よりよくする為の支援をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		都度振り返りを行う事で適時適用できる様な体制を取れる様努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		各支援項目を細分化し、個別に考えています。その様にする事で適切な支援内容を導き出せればと考えています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		事業所全体で会議をし、レクリエーションや活動プログラムを工夫し立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		年に何度か同じものが行われた際には、以前行ったものを振り返りを行い、新しいものにと考え行っています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		適時その状況に応じて個別支援計画を作成し、実施する様にしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		朝礼を行い、毎日前日の振り返りと当日の支援に対する関りや役割を話し合い、挑む様にしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		翌日の朝礼とは別に必要な情報共有を職員間に情報開示し共有する様にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		朝礼にて情報の記録を取り、データ、書面ベースで残しています。必要に応じて再度見直せるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		支援内容に変更の必要があると判断された場合には都度モニタリング会議を行い、個別支援計画の内容を見直しする様にしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		ガイドラインに沿った支援を心掛ける為、各利用者様に合った支援を幾つも練り、打ち合わせを得て実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		例えば利用者様が自己決定ができる様な声掛け、選択を与える事で、イエスカノーで応えられる様にしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		相談員様とのやり取りは相談支援事業所毎に違う為一概には言えませんが、密にモニタリングを行い理解者として参加させて頂いています。	相談員様と連携を図るべく、個別支援計画を共有し、より本人に合った支援を作成していきたいと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		園とは保護者様を通し、情報の共有（主にその日の生活態度等）を連携する事で情報に際が生まれぬ様心掛けています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		保護者様を通し、学校との情報共有をしています。お迎え時間変更等迅速にご対応頂いています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		同上にはなりますが、他の利用者様の園にお迎えに行く事もあり、都度連絡事項を頂いている現状です。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		現在そのようになった事が無く、体制が成されていません。	今後移行する可能性を考え、体制を整える様にと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>			支援センター様とは個々での利用者様のやり取りは行っていない現状です。その中でも関連するお子さまの助言等は頂きたく思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input checked="" type="checkbox"/>			まだそういった活動は無く、対応する地元との交流を図ればと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		毎月参加させて頂き情報交流を図らせて頂いています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		あくまでも本人支援になる為、保護者様より希望を踏まえた上でどのように支援をするかの共通理解をお互いに持っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>			ご家族様への研修支援はまだ行っていませんが、今後取り入れていければと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		契約時にはもちろんの事、利用者様上限額の変更があった際やレクリエーション等不明な点も含め都度説明をする場を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		常に保護者様からのご心配事や本人様にとって必要な事を聞き取りし、意向があればその都度お聞き受けさせて頂いています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		会議後に作成した個別支援計画を元に入念に打ち合わせをして差異が無い様実施しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		送迎時には中々難しい為、その後時間と場所を設け相談させて頂く様にしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		父母の会等まだ開催予定はございませんが、利用者様が今後増え、アンケート結果により必要と判断した際に開催出来ればと考えています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		利用者様ご家族より相談の申し入れがあった際には大事な困り事と判断し、早くてもその日か翌日に対応出来るよう体制を保っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		行事があった際にはSNSを通してその時の出来事をアップさせて頂いています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		外部研修や書類での情報吐露など無い様事業所内で徹底する様声掛けを行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		出来るだけ個人に寄り添った支援をし、誤情報を発し無い様心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		現時点ではございませんが、事業所見学等の機会があれば是非ご参加頂きたい思います。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		危険察知マニュアルを元に事業所内では月に数回行う様にし、フィードバックを以て振り返る様にしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		いつ何が起こるか分からない中で、利用者様も含め訓練対策を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		適時利用者様の服用状況や発作関連等にはアセスメントを行う際に保護者様より聞き取りを行っており、アレルギーなどにも注意する様にしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		面談時にアセスメントを行い、聞き取りを行っています。	調理レクリエーションをお菓子を提供する際、職員間で周知する情報は事前に確認する様にしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		定期的に安全計画に基づく訓練や研修を行い、安全確認を再度周知する様にしています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		利用者様への危険察知については口頭にてお伝えしていますが、現状場面でのお伝えしか出来ていない現状です。	対策として、今後契約時には自然災害等の避難場所に続き、ご家族様に安全計画の周知を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		朝礼にて危険の可能性を議題として挙げ、発生防止及び過去の事例を再発防止として話し合いをしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		定期的に研修を行うと共に、研修内容がルーチン化しない様常に新しい可能性を考えています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>		身体拘束については保護者様より聞き取りを行い、アセスメント段階で具体的な場面や詳細を明記する様にしています。		